別紙

１．日ウズベキスタン　インフラ・スマートシティ開発フォーラム

（１）日　程　　令和８年３月４日（水）
（２）会　場　　ウズベキスタン共和国タシケント（アジムット グランド ホテル タシケント）
（３）共　催　　国土交通省
ウズベキスタン共和国投資産業貿易省
ウズベキスタン共和国デジタル技術省
ウズベキスタン共和国建設・住宅公共サービス省
ウズベキスタン共和国運輸省、ウズベキスタン共和国新タシケント市建設局
（４）出席者　　日本・ウズベキスタン合計 約 130 名
＜日本側：約 50 名＞
国土交通省（寺田国土交通審議官他）、在ウズベキスタン日本大使館（平田特命全権大使他）、森地茂　政策研究大学院大学名誉教授、
阪急電鉄株式会社、株式会社日建設計、清水建設株式会社、株式会社構造計画研究所、スマートシティ技術研究所　現地法人、双日株式会社　タシケント事務所、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、株式会社 UR リンケージ、伊藤忠商事株式会社、関西大学、丸紅株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル、一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団
＜ウズベキスタン側：約 80 名＞
投資産業貿易省（カシモフ・イルザット副大臣他）、デジタル技術省（マクススドフ・ジャモル副大臣他）、投資促進庁（ロクサナ・ネソル副長官代理他）、タシケント新市建設局（シャラフ・ラジャボフ副局長他）、IT パーク（アブドゥラハド・クチカロフ所長他）、その他省庁、政府機関、民間企業・団体
（５）会議概要

○ 開会挨拶

会議の開会にあたり、日本側およびウズベキスタン側の代表者からそれぞれ開会挨拶が行われ、今回の会合の趣旨や双方の協力に対する期待が述べられた。

＜開会挨拶　登壇者＞
- 国土交通省　　寺田 吉道　国土交通審議官
- 投資産業貿易省　カシモフ・イルザット　副大臣
- デジタル技術省　　マクススドフ・ジャモル　副大臣
- 在ウズベキスタン日本大使館　平田 健治　特命全権大使

寺田国土交通審議官挨拶

投資産業貿易省カシモフ副大臣挨拶

在ウズベキスタン日本大使館
平田特命全権大使挨拶

○ プレゼンテーション

日本側からは、森地茂名誉教授が「各種のスマートシティプロジェクトとその統合」と題して基調講演を行った他、6 社がスマートシティ、TOD、耐震技術等を中心に技術・事業紹介を実施した。また、ウズベキスタン側も「スマートシティとインフラの投資機会」と題し、同国の将来性や日本の高い技術力への期待を示した他、IT パーク（同国の ICT 産業育成拠点で、スタートアップ支援やデジタル政策推進を担う機関）が登壇し、同国のデジタル施策等について説明が行われた。

＜プレゼンテーション　登壇者＞

- 政策研究大学院大学　森地 茂　客員教授、名誉教授
- ウズベキスタン共和国投資促進庁　ロクサナ・ネソル　副長官代理
- 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル　梅村 絢矢　副部長
- 阪急電鉄株式会社　上村 正美　専務取締役
- ウズベキスタン共和国内閣府タシケント新市建設局　シャラフ・ラジャボフ　副局長
- 株式会社日建設計　来住 竜一　執行役員
- 清水建設株式会社　谷口 精寛　スマートシティ推進室長
- 株式会社構造計画研究所　庄司 正弘　担当専門役員
- 株式会社スマートシティ技術研究所　アリッシャー・ムハメトバエフ　ディレクター
- ウズベキスタン IT パーク　アブドゥラハド・クチカロフ　所長

森地名誉教授による
プレゼンテーション

阪急電鉄株式会社上村専務取締役
によるプレゼンテーション

投資促進庁ロクサナ副長官代理による
プレゼンテーション

○ 閉会挨拶

会議の閉会にあたり、ウズベキスタン側代表者より閉会挨拶が行われ、今回の会合開催に対する謝意や、今後の協力関係の発展に向けた期待が述べられた。

＜閉会挨拶　登壇者＞

- ウズベキスタン共和国投資産業貿易省　サイド・アブドゥッロ　主任専門官

投資産業貿易省サイド主任専門官
閉会挨拶

○ ネットワーキング

会合後にはネットワーキングセッションが設けられ、日本企業とウズベキスタン側の参加者が交流を深めた。両者は今後のビジネス協力の可能性について意見を交わし、現地の産業動向や投資環境に関する情報共有も行われた。また、会場運営には日本語を学ぶ地元大学の学生が参画し、参加者の案内やセッションの円滑な進行を支援するなど、会合を支える重要な役割を果たした。

ネットワーキングの様子

日本語を学ぶ学生達との交流

会議登壇者等との集合写真

２．都市開発の現場視察及び省庁訪問（３月４日）

フォーラム参加の日本側関係者とともに、以下の行程にて現場視察及び省庁訪問を実施した。

（１）新首都（ニュータシケントシティ）都市開発現場視察

新首都建設現場および関連施設であるデポを視察した。同プロジェクトは、行政機関を含む国家中枢機能を集約し、伝統文化と近未来的都市デザインを調和させた新たな首都の形成を目指す国家的取組であり、都市インフラ整備の進捗状況や計画概要について関係者から説明を受けた。

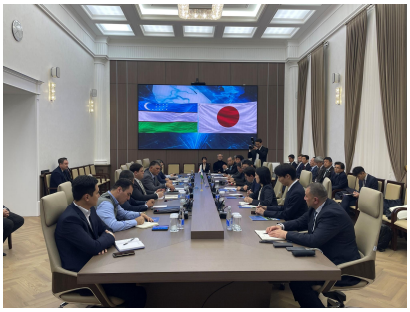
（２）交通省訪問

続いて交通省を訪問し、新タシケント空港建設計画を中心に意見交換を行った。ウズベキスタン側より、同プロジェクトの主要課題や今後の見通しが共有されるとともに、日本企業の参画に対する強い期待が改めて示された。双方は、事業の実現に向けた協力の方向性について認識を深めた。

（３）クドラトフ投資産業貿易大臣との意見交換

その後、日本留学経験を有するクドラトフ投資産業貿易大臣と会談し、両国の経済連携や投資分野における協力可能性について意見交換を実施した。大臣からは、ビジネス環境整備を含む今後の連携強化に向けた前向きな姿勢が示され、双方は引き続き協力を進めていくことを確認した。

ニュータシケントシティのデポに設置されたジオラマ



交通省との意見交換の様子

クドラトフ投資産業貿易大臣と寺田国土交通審議官